

● 台持ち継ぎ

台持ち継ぎには、和小屋の桁(角材)梁(素材(丸太))、使い独特の台持ち継ぎである。角材を使った継手は、台持ち継ぎ、梁(素材)の継手を、小屋台持ち継ぎと云う。和小屋組みの投げ掛け梁(下木上木)、が敷き梁(牛梁)に掛かってくる登り勾配がまちまち千差万別であるので、下木上木の継手加工真を基準の水墨(水平)にして、(小屋組軒桁天端よりの揚がり寸法を明記しておくこと)、投げ掛け梁の墨付け加工(切込み)することが大切である。なお、だぼ(太柄)は、傾斜に直角でな立木(垂直)に加工植え込むこと。なお現代風に独鉗栓、によ緊結でなくボルト締めによる工法を図示する。

